

土木工学・建築学委員会感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市の

あり方分科会（第25期・第9回）

議事要旨

I. 会議名 土木工学・建築学委員会感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会（第25期・第9回）

II. 日時 令和4年10月4日（火）15：00～17：00

III. 会場 遠隔会議

出席者 前川宏一・小野悠・大岡龍三・齊藤大樹・斎尾直子・竹内徹・高橋良和・竹脇出・緑川光正・南一誠・三輪律江・望月常好・山本佳世子・渡邊朗子

欠席者 佐々木葉・赤松佳珠子・伊藤香織・伊香賀俊治・田村和夫・増田聡

配付資料

資料 9-0：（議事次第）土木工学・建築学委員会感染症委第9回

資料 9-1：第25期感染症拡大に学ぶ_建築・地域・都市のあり方分科会（第8回）議事要旨

資料 9-2：DX（AI、デジタル医療、ロボティクス、教育）：アンケート_土木工学・建築学委員会 20220922

資料 9-3：ポストコロナの働き方について - Google フォーム

資料 9-4：ポストコロナの働き方アンケート送付先 20221004

資料 9-5：シンポジウム企画書_感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会 20220923

資料 9-6：感染症見解案メモ（分科会中に回覧）

IV. 議題等

1. 議事要旨案の確認

高橋委員より資料 9-1 に基づき第8回議事要旨案が説明され、出席者情報の追記等の修正を反映させ、成案とすることが確認された。

2. 各 SWG の活動報告（各 SWG 幹事）

SWG1：竹脇委員より、国内向けのアンケートの準備を進めていることが紹介された。

SWG2+5：斎尾委員より、資料 9-6 に基づき感染症見解案に関するメモが紹介された。人ベースとしては「住まい方」「暮らし方」「楽しみ方」「働き方」「学び方」という項目で、社会基盤ベースとしては「産業」「物流」「防災」という項目で整理している。各委員が追記するよう要請された。

SWG3：大岡委員より、日本建築学会の環境関係／コロナ特別調査委員会における議論の状況が共有された。環境工学での議論を建築計画的にどのように解釈すればよいかを取りまとめている。

SWG4：山本委員より、本分科会における話題提供者について検討中であることが報告された。

SWG6：高橋委員より、シンポジウムに向け、情報というキーワードで防災に係わるリクエストがあれば連絡いただきたいと要請された。

3. SGW1 アンケートについて（竹内）

会議中に資料 9-3 に基づきアンケート回答試行しながら、質問事項についてご意見いただきたいと依頼された。意見および依頼事項は以下の通り。

- 性別に関する質問方法を検討。一案として「男・女・どちらでもない・答えたくない」
- 提供可能な情報を問う前提として、マイナンバーカードの取得状況を聞いてみてはどうか。
- 居住地／通勤時間を質問してはどうか。
- 配布先の多様性を増やしたいので、資料 9-4 に情報を追記してほしい。

4. 連絡会議を通じた意見の表出について（竹内）

パンデミックと社会連絡会議から、「サブテーマ DX（AI、デジタル医療、ロボティクス、教育）について」のアンケート依頼（資料 9-2）があった。本分科会としては関連する内容として教育に関する審議を行っていることから、それらに関する回答案について説明された。

3. 公開シンポジウムの内容について（斎尾先生）

資料 9-5 に基づき、シンポジウムの内容に関する説明がなされた。

- 日時：2023 年 1 月 22 日（日）10-13 時
- 開催方法は完全オンラインあるいは学術会議の会議室からか？

- 第一部は「暮らし方」「働き方」「学び方」「居方・楽しみ方」の視点から話題提供するものであり、概ね資料 9-6 の人ベースの項目に相当している。第二部は情報の視点から話題提供するものであり、特に「生活者のケア」、「行政の取り扱い情報」、「防災と感染症」の切り口を取り上げる。
- 二部の後に、古屋誠章先生、出口敦先生から話題提供に関するコメントをいただき、それを踏まえた総合討論を追加した。
- 共催／後援依頼について、日本学術会議の書式を確認し、依頼担当者が決定された。
- 働き方と学び方について、リモートに関する受け入れ方が大きく違う。学び方(教育)についてはコロナ前の状況に引き戻す力が大きい。

文責：高橋